科目名	小児看護学特別研究Ⅲ Research ProjectⅢ in pediatric Nursing	担当教員 (研究室番号)	宮﨑　つた子（207） 前田　貴彦　（206）	教員への連絡方法 （メールアドレス）	

履修年次	2年次 後期	科目区分	専門科目	選択区分	分野 必修	単位数 (時間)	4(60)	授業形態	特別研究	科目等履修生	否
										遠隔授業	一部

科目目的		収集したデータを適切な方法で分析し、その結果を考察し修士論文としてまとめ、成果を論文発表会で発表し、質疑に対応する。そして、これら一連の過程を通して、基礎的な研究遂行能力を修得する。
ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ(DP)	主要なDP	５．看護学の発展に寄与するための研究能力を修得している。
	関連するDP	３．地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追及していける研究能力を身につけている。
到達目標		１．収集したデータを適切な方法で分析し、その結果が示す意味を理解することができる。 ２．分析結果を客観的な視点から考察し、一貫性のある修士論文としてまとめることができる。 ３．論文発表会にあたっての効果的な発表方法を習得することができる。 ４．修士論文審査・最終試験に必要な準備をし、質疑に応答することができる。。 ５．修士論文発表会および審査最終試験での指摘事項について最終提出論文に反映することができる。

成績評価方法 (基準)	修士論文（80%）、論文発表会での発表と質疑応答(20%)
教科書	特に指定しない。
参考書等	必要時に提示する。
受講者へのメッセージ	主体的に取り組む姿勢が求められます。最後まで強い意志をもって取り組んでください。
備考	論文審査および最終試験に申請し、この合格をもって本科目の単位修得とする。

学　習　内　容

【到達目標１について】
・収集したデータについて研究指導教員等の助言を受けながら、研究目的に整合した適切な分析の仕方を学習する。
・分析結果が何を示しているかの解釈や重要な点等について、ゼミナール等でプレゼンテーションを行う。

【到達目標２について】
・得られた結果を主観的に捉えるだけでなく、多くの先行研究をもとに客観的な視点から捉える必要性とその言語的表現方法について学ぶ。
・修士論文作成要領に則り論文を執筆する。繰り返し論文推敲を行う必要性について学び、明解かつ論理的で「はじめに」から「結論」までの論旨に一貫性のある修士論文を作成する。

【到達目標３について】
・発表会でより効果的に報告するための資料（パワーポイント）作成において、工夫することや注意すること等について学ぶ。
・資料の作成にあたっては第三者からも理解できる内容にするように努める。

【到達目標４について】
・発表会等で想定される質問とその回答について必要な資料を作成する。
・発表会での質疑に自己の見解を踏まえ応答する。

【到達目標５について】
・発表会や審査および最終試験で指摘された内容のうち、修正が可能な内容を最終提出論文に反映する。

【各到達目標の共通事項】
・結果の分析や論文作成の過程では、論文指導教員等から指導や助言を受けながらより完成度の高いものにしていく。